

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松私立新番丁小学校
校長名 村川 絹子

公印
省略

令和4年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

学 校 の 名 称	高松市立新番丁小学校
派 遣 内 容	地震・津波発生の仕組み、発生時の対応に関する教育
日 時	R4年9月12日(月) 8:25~10:05 (①②時間目)
場 所	本校 多目的室
対 象 者 数 参 加 人	児童数 150名 クラス数 5 クラス 教職員 6名 その他 0名
内 容 ・ 日 程 等	東京海上日動の「ぼうさい授業～地震・津波編」 ・地震・津波発生の仕組みや、震災が起きたとき心掛けるべき行動について等
取 組 に お け る 成 果	津波のメカニズムを動画や資料で教えてくださったことで、視覚的にも津波の発生の様子が理解できた。特に、地震による津波が日本海を越えて世界各国まで被害をもたらす動画は、報道が世界の震災情報を日本でも流すこと理由にもつながり、単純に津波の被害を知ることだけでなく大切な知識を得ていた。 海岸が近くにある本校の立地やハザードマップを資料に、地震が発生したときの最適な行動は何か答えだけを伝えるのではなく、児童に問いかけ考えさせながら教えてくださったので、より自分事として考えながら知識を深めることができていた。 被災したとき、どのような防災グッズがあれば安全を確保できるか、実物を見せてくださったので、最新の道具や備蓄品の情報も得ることができていた。
今 後 の 課 題	知識として身に付けるだけではなく、学んだことを実際の場面で活用したり、災害の有無に関わらず自分がどう行動すればよいかを日常生活の中で考えたりする必要がある。そのために計画的に防災学習を行ったり、家庭で防災について啓発したりすることで、意識を継続できるようにしたい。

【事業の様子が分かる写真】



さいがい 災害がおこったときは、ひとりひとりの^{ただ}正しい知識や日頃の^{ちしき ひごろ}備えがとても大切です。
 今日^{じゅぎょう}の授業で覚えたこと^{おぼ}や考えたこと^{かんが}をメモして、^{かぞく}家族や先生と地震に備えるときに^{せいしん}役に^{そな}立ててください。

メモ 地震は命にかかわるもの。

3.11小学校があちゃくちやに!!

東日本大震災
 死 15900
 負 2526名
 負 6167

日に300回以上
 地震がおきる。
 つなみもきやすい。

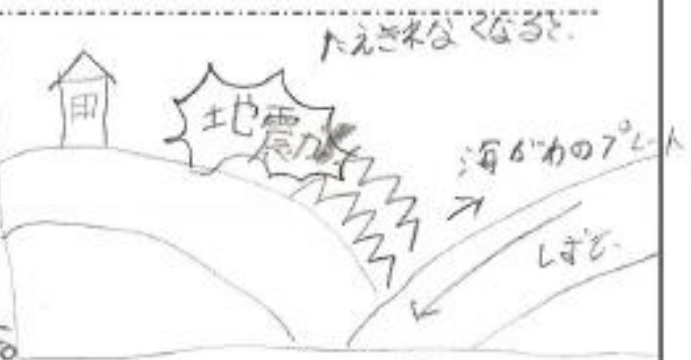
二地震のしくみ

日本の近くには、4つのプレート
 があまっている。
 ↓ たぶら
 じんが おきやすい。

	活断層で おこるじん	プレートの 境でおこるじん
回数	多い	少ない
つなみ	すくない	多い

今日学んだこと

地震や津波は、とてもおこ
 こと、また、いつおこるか分ら
 ないということが分かりまひ
 また、つなみは、海の中は80km
 陸は36kmということを知りま
 した。



つなみが伝わるはやくさは?
 海の中の方がはやく。
 80km
 陸36km
 つなみは見にいがない。

どこで、つなみがおこっても注意!
 つなみ



強い はかり たい
 いそいで けん





ワークシート

じゆぎょう

ぼうさい授業

じしん つなみへん
～地震・津波編～

なまえ か
お名前を書いてください

さいがい 災害がおこったときは、ひとりひとりの正しい知識や日頃の備えがとても大切です。
じゆぎょう おぼ 今日授業で覚えたことやかんが考えたことをメモして、かぞく せんせい じしん そんな 家族や先生と地震に備えるときにやくだ 役立ててください。

メモ 今日の地震・津波から自分の命を守り、いざというときの備えを学ぶ

大きな地震が起ると、建物がくずれたり、道路にひびが入ったりする。
津波・火事も起きる。
地震は危険で命にかかわる。
津波にあつた小学校はとてつくすれてた。
日本では1日に300回地震が起きている。
日本は地震や津波がた外国。

活断つで起る地震は、回数が多いが津波は起さない。
プレートの境で起る地震は、回数が少ないが津波が起る。
日本の近くには、たつのプレートがあり、これが活動することによつて地震が起る。
津波が伝わる速さは海の中の方が速い。

今日学んだこと

大きな地震が起ると、道路がくずれたり、ひびが入ったり、建物がくずれたり恐ろしいことがつぎつぎと起ると分かつた。小さい地震もつくめて、日本では1日に300回も地震が起っていると分かつた。地のプレートが海側のプレートにおさかれ、はね返ることによつて、津波が起るとわかつた。もしもの地震に備えて、きちんと防災グッズを持っておくことが大切。

